

## 意見募集で寄せられた字体にかかわる意見の一覧

分類	内容	意見の概要	理由	付記
字体(団体)	○	試案に賛成	字体変更は手間とコストに直結、2004JISは現在普及中	印刷字体と手書き字形の対照を詳しく例示すべき
字体(個人)	◆	しんにゅうは1点に	記憶しやすい	
基本(団体・個人)	◆	二重基準的なものが混在するのは遺憾	漢字表そのものは規範的であるべき	
総合(団体)	◆	部首は現常用型に統一	字体簡明化の理念を維持すべき	現行常用型を本表に掲げ、印刷の標準が変わらないことを付記
総合(団体)	○	試案に賛成	活字の使用実態と合致。教育的見地からも大事	
総合(団体)	◆	部首・その他を現常用型に統一	入試問題作成で混乱。高校での説明が困難	
総合(団体)	○	試案に賛成	印刷標準字体が広がりつつある現状と合致	
総合(団体)	◆	部首・その他を現常用型に統一	手書きと印刷の画数が異なるのは問題	
総合(団体)	○	試案に賛成	文字コードとの関係が考慮されている点を評価	
総合(団体)	○	試案に賛成	通時的汎用的に安定した情報交換の基盤とし得る	
総合(団体)	△	印刷標準字体を採る。3部首は現行型に変更	ある程度の混乱は不可避。整合性と統一性を示すべき	
総合(団体)	△	原則賛成だが、3部首は現行型に変更	社会の認識が低い。デフォルトの印刷文字の問題	
字体(個人)	□	「靜」を「静」に一本化	自身の名前	
字体(個人)	□	「邦」の異体字を追加	自身の名前	
字体(個人)	◆	部首は現常用型に統一	外国人に教えるため	
字体(個人)	◆	①部首・その他を現常用型に統一。現行表にさかのぼり康熙字典体も許容し表内に明示 ②筆写体に近い書体を使用	採点の際に困る 明朝体では画数・書き順等が混乱	許容字体を示す欄を作ってほしい
字体(個人)	□	「逗」は1点しんにゅうにする	現行常用と整合	
字体(個人)	□	「臭」は「犬」の形に統一		
字体(個人)	□	「崇」と「崇」が混同しないフォントに	混同して覚えている生徒が多い	
字体(個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一	手書きの際の書きやすさ、ペンの流れに注目	
字体(個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一	会意という成り立ちを考慮	
字体(個人)	□	官報・法令等の使用字体を調査すべき	試案と官報・法令等の字体がかけ離れているのは問題	調査をしないなら、新漢字表の対象から「法令・公用文」を外せ
字体(個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一		
字体(個人)	◆	現常用型と康熙字典体を併記	筆写の習慣に準じた平易な形に	字体の許容という表現は、筆写字形に対する誤解の原因
字体(個人)	□	「廣」は、まだれ+黄に		
字体(個人)	◆	部首は現常用型に統一	実務では現行常用型を使う	
字体(個人)	△	微細な差しかない部分は許容すべき。その他は試案のままでよい	ふだん意識されない字形差については、現常用型に合わせないと学校教育での負担が増える	細部の形にこだわる漢字教育を是正する方向を示せ
字体(個人)	○	原則賛成。「しかる」は口+七ではなく「叱」に	「七」型は実装コストがかかる	
字体(個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一	教育の現場に負担がかかる	篆書・隸書の字体を復活させている
字体(個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一	共通部分の字体が異なることを避ける	
字体(個人)	□	【質問】しんにゅうは手書きでは1点とは?		テストなどでの基準はどうなるのか?

意見募集で寄せられた字体にかかわる意見の一覧

字体(個人)	◆	しんにゅうは1点に	現行常用に合わせるべき。哲学がない	
字体(個人)	◆	略字体で統一	矛盾が大きく違和感	
字体(個人)	◆	しんにゅうは1点に	制限を明確にし、標準・基準性を強くすべき	
字体(個人)	○	原則賛成。括弧内の康熙字典体提示をやめるか、「徴」「鬩」「併」の括弧内字体を変更すべき	JISの例示字形と康熙字典体との無用な混乱を避けるため	
字体(個人)	○	原則賛成。教科書体の活字で提示	明朝体にはデザインの要素が入り、手書きの参考にならない	
字体(個人)	◆	部首は現常用型に統一	混乱を避ける。3部首許容に做って整理できるはず	
字体(個人)	○	試案に賛成	現状を混乱させない現実的な提案である	手書きと印刷体との混同が教育関係者にある
字体(個人)	○	試案に賛成	表内に手書きの際のしんにゅうは1点	印刷文字と手書き文字の関係を明示すべき
字体(個人)	○	試案に賛成		できれば現行常用も許容字体を広げる
字体(個人)	○	原則試案どおり。筆記体を併記する	誤解や誤った類推を避ける	
字体(個人)	○	試案に賛成。	文字コードを変更すればXML文書等が機能しなくなる	漢字は情報社会のインフラである
字体(個人)	○	原則試案どおり。部首以外の許容を	コンピューターで変換できないものは許容として明記	
字体(個人)	○	試案に賛成	既に0213規格に伴う変更でコストがかかっている	例示字体変更のような混乱は避けるべき
字体(個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一	将来に混乱の種を残す	
字体(個人)	○	①試案に賛成	字体変更は印刷に混乱を起こす	
字体(個人)	○	②フォントはJISの例示字形に	字体・フォントの混在が起こる	
字体(個人)	○	試案に賛成	文字コードとの整合がとれている	デザインの違いと字体の違いについて周知を
字体(個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一	混乱は起きない。字体の転換は技術的に容易	
字体(個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一	JISコードの事情を理由にした表内の不統一は本末転倒	
総合(個人・郵送)	△	部首は賛成。部首以外を現常用型に	手書きの際の混乱を避ける	
総合(個人・郵送)	○	①試案に賛成	現在も多大なコストをかけてJISの例示字形変更に対応中	JISコードの変更を誘発すれば、関連業界等に対し、新漢字表への対応を不可能にさせるか、多大なコストを強いる結果になる
総合(個人・郵送)	○	②JISの例示字形と同一の字形に	誤解と混乱を避ける	
総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一		
総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一	JISを改定すれば済む。また、外字などで対応可	
総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一	何と理由を付けようとそれが当たり前。外国との壁を低く	
総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一	簡単になり、覚えやすくなる	出版物の字体決定には編集者が介在している
総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一	現行常用漢字との整合性一貫性をとる	
総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一	手書き文化への配慮。戦後施策の一貫性。将来への理念の欠如。UCSのマッピング変更や人名用漢字からの削除で対応可。画数が印刷字体と手書きと違うのは問題。学校のテストで混乱	
総合(個人・郵送)	○	簡易慣用字体でなく印刷標準字体を採用すべき		
総合(個人・郵送)	○	①試案に賛成	字体の標準を変えれば、書籍等の字体変更も必要となる	書体の変更(語のにすいの形など)は避けるべき
総合(個人・郵送)	○	②ただし、簡易慣用字体の採用はやめる	人名用漢字と食い違う	

意見募集で寄せられた字体にかかわる意見の一覧

総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一	JISに新字体を追加すれば済む	
総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一	JISは7年に1度程度改定されている	
総合(個人・郵送)	○	①試案に賛成 ②ただし、簡易慣用字体の採用はやめる ③字体の許容はやめる ④印刷局書体を採用	試案P.11～13にあるとおり 追加字種の中で例外が生まれ、不統一 1字種1字体の原則に立つべき	表外漢字だけに適用されるデザイン差について記述すべき
総合(個人・郵送)	△	部首は現常用型に統一 つくり等は積極的に康熙字典体を残す	漢字を学習する上でよい	
総合(個人・郵送)	◆	部首・その他を現常用型に統一	今までの線引きを守る。技術的問題は簡単に付いてくる	
総合(個人・メール)	◆	部首・その他を現常用型に統一	施策の一貫性、手書き字体との関係に配慮	
総合(個人・メール)	◆	部首は現常用型に統一		2点しんにゆうを認める根拠は何か?
総合(個人・メール)	△	部首はどちらでもいいが、どちらかに統一すべき	混在は好ましくない	
総合(個人・メール)	◆	しんにゆうは1点に	何の支障もないはず	
総合(個人・メール)	◆	部首・その他を現常用型に統一	教育現場で混乱するおそれがある	
総合(個人・メール)	○	原則賛成。平成明朝体は使用しない	現行常用漢字との整合性一貫性をとる	平成明朝体は字体の規範を示すものではない
総合(個人・メール)	◆	部首は現常用型に統一	教育現場での指導が難しい	
総合(個人・メール)	△	字体はできる限り統一すべき		「填、剥、抄」などの字体についての配慮が必要
総合(個人・メール)	◆	似たような形はなるべく統一	文字を使う時の負担を小さくする	
総合(個人・メール)	○	試案に賛成	印刷標準字体が広がりつつあり混乱を招く	
総合(個人・メール)	○	①試案に賛成 ②公的書体を採用すべき	変更すれば現代日本語の用字と乖離(かいり)する 漢字表の字体は絶対視される	印刷局書体等
総合(個人・メール)	◆	しんにゆうは1点に	学習者の頭を混乱させる	
総合(個人・メール)	□	許容字体を拡大すべき	非互換である0208と0213規格が混在している現状では、漢字の字体についても「目安」とするのが現実的判断である	
総合(個人・メール)	◆	部首・その他を現常用型に統一	今は表外字だから正字を用いるに過ぎない	
総合(個人・メール)	□	誤った新字体を是正すべき	過去の国語施策についての説明が必要	「表外漢字字体表」の字種を表内に入れば当然矛盾が生じる
総合(個人・メール)	○	①残念ではあるが変更は求められない ②剥・類・填・叱はJIS X 0208字体を採用すべき ③3部首以外についても「許容」字体を示すべき	現状では困難である 0208規格搭載機器との非互換が起こる 0208規格の字体が普及していたことを考慮すべき	
総合(個人・メール)	○	原則賛成。表内で字体の揺れを解説すべき	表の外で許容を説明しても普及しない	JISコードとの関係を表内で示すことも可能では
総合(個人・メール)	□	不統一を起こす字は「準常用漢字」に	標準字体を定める機能を持たないように	
総合(個人・メール)	○	試案に賛成	現実の文字生活の実態が尊重されている	
総合(個人・メール)	○	「表外漢字字体表」のような2欄表記に	字体の問題などを考えると合理的	印刷字体の正確性を高めてほしい
総合(個人・メール)	□	「曾」ではなく「曾」を採用すべき	学術的には「曾」の方が通用している	
総合(個人・メール)	◆	部首を現常用型に統一	学校現場で大きな混乱が起こる	

意見募集で寄せられた字体にかかわる意見の一覧

総合(個人・メール)	○	①試案に賛成。欠点はあるが、やむを得ない	ヒト・モノ・カネのコストを見過ごせない。また、手書きでは不統一はないことが確認されている	表内に明朝体活字と並んで筆写の楷書を示すべき
		②「頰, 填, 剥, 叱」の字体は許容を明示すべき	0208と0213の非互換がある現状では今後も使用され続ける	
総合(個人・メール)	◆	拡張新字体を本則, 旧字体を許容とする	学生が混乱しかねない	
総合(個人・メール)	○	追加字種は原則試案のとおり。康熙字典体を認め, 1字種2字体とする。	東アジアの漢字文化圏の意思疎通のため	
総合(個人・メール)	○	原則賛成。簡易慣用字体の採用には反対		
総合(個人・メール)	□	新旧字体が混在すれば目安ではなくなる	「表外漢字字体表」が失敗だった	
総合(個人・メール)	◆	①部首・その他を現常用型に統一	文字セットとしての一体感を損なう	
		②手書きの規範字形を併記する	二本立ての規範にする場合には特に必要	
		③常用漢字表の字形を維持する	例示字形の変更は, 全文字の詳細な検討を必要とする	
基本(団体・個人)	○	試案に賛成		
基本(団体・個人)	◆	部首・その他を現常用型に統一	これまで学習してきたものとの調和, 統一を図るべき	同一の字におけるデザイン差などについて周知を徹底すべき
基本(団体・個人)	□	現行常用漢字も含め康熙字典体にすべき	当用漢字の理念と違うのだから, 出発点に戻るべき	

- ◆ = 現行常用漢字の字体にそえるべき(しんにゅうは1点に統一, 部首(しんにゅう・しょくへん)は現行常用漢字型に統一, 部首・その他を現行常用漢字型に統一)
- = 試案に賛成
- △ = 折衷的な意見
- = その他